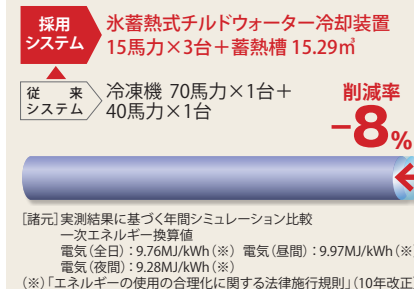


明治ケンコーハム株式会社 東京都品川区

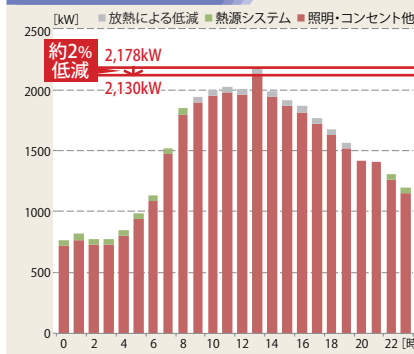
【贈呈理由】 商品製造工程への氷蓄熱式チルドウォーター冷却装置導入により、省エネを実現



一次エネルギー消費量削減効果



ピーク電力削減効果



時代とともに「食」の多様化、個性化がすすむ中、常に「新しい食の提案者」であり続けたいとする株式会社明治のグループ企業である明治ケンコーハム株式会社は、高品質を誇るハム、ソーセージを自社製造する他、多くの協力会社と連携して多彩な商品の提供を行っている。

世界遺産に登録されている富士山から多くの自然の恵みを与えられた豊かな自然環境に立地する三島工場では、保存料などの合成添加物を使用しないということを持ちつたハムやソーセージ、ベーコンなどを生産しており、生産ラインには、バクテリアなどをシャットアウトするクリーンルームを完備。万全の品質管理体制を確立し、「食」の安全と豊かさを求め続けている。

これまでの導入実績を踏まえ、チルドウォーター冷却装置も蓄熱に

当工場では、1998年からクリーンルームの空調に蓄熱式空調システムを導入し

ており、15年以上の運用実績から、環境性、省エネルギー性、ピーク電力削減および夜間電力の有効活用を確認してきた。

そこで今回は、ハムの製造に利用しているチルドウォーター冷却装置（アイスビルダー）の更新にあたり、これまでの実績から氷蓄熱式を導入することにした。

電力負荷の平準化により、さらなるピーク電力削減へ

アイスビルダーの製氷は、原則夜間運転とすることで電力負荷の平準化に貢献。日頃から最大電力の低減に向けて工場一丸となって節電等に取り組む中、氷蓄熱式



チルドウォーター冷却装置

の導入によりさらなるピーク電力の削減が現実的となった。

生活に必要な不可欠な食料品は、電気料金をはじめとする原材料費の高騰を安易に価格転嫁することは難しく、単純な設備更新ではなく、蓄熱システムを導入することで、原材料費の維持、低減の一助となっている。

今後もより高次元の「食文化」を創造していくとともに、お客さまに心からご満足いただける「食」のトータルサプライヤーとして、たゆまぬ努力を続けていきたい。

明治ケンコーハム株式会社 三島工場

所在地：静岡県三島市安久43-2
蓄熱設備設計：東京冷化機工業（株）
蓄熱設備施工：（有）エム・アール・ケイ
竣工：2014年（更新）

■蓄熱設備概要

生産プロセス用冷却氷蓄熱システム
熱源機：空気熱源ヒートポンプチャラー 29.1kW×1台
〔東京冷化機工業〕
蓄熱槽：15.29m³（スタティック）